

聞かせて後で、道徳的意味だけを抽象する、さういふ

事はいけない、又話の目的を道徳の一方にむければ面

白くなくなる、子供には子供らしき點を存して置け、

猿蟹合戦の話ならば、其中から子供に道徳の事を纏め

て言つたりする、さういふ事は幼稚園の子供には要ら

ぬと云ふ様に云つて居ります。

それで今日申上た事は甚錯雜して秩序もござりませ

ず、夫に時間がござりませぬで、甚急ぎましたから、飛

ばしたり何かしましてお判りにくうござりませうが、

要するに保育は子供の自然に従ふべきである、然るに

今日は子供に望むに大人の考を以てする事が多い、談

をするにしても、遊戯をするにしても、はた、又恩物

を弄ばせるにしても、頗大人の心を以て解釋して居る

事が多いですから、今少し自由に、子供には子供らし

くやつてはどうかと云ふ事に歸するのでござります。

甚御清聴を煩はしました。

は き よ せ

清水 鶴

唱歌は幼兒の最も好むものにして教育上亦最も必要

なるものなれども十分の注意を以て歌はしめざれば唯

狼りに怒聲を發して害を殘すに止むべければ其の適當

なるものを撰び宜しく相應に練習せしめんこと必要な

り一時流行の唱歌例へば鐵道唱歌の如きは興に乗じて

殊に怒聲を發すること多し又此等の歌詞を下品に造り

かへてうたへるものあり何れの邊より出でたるかは知

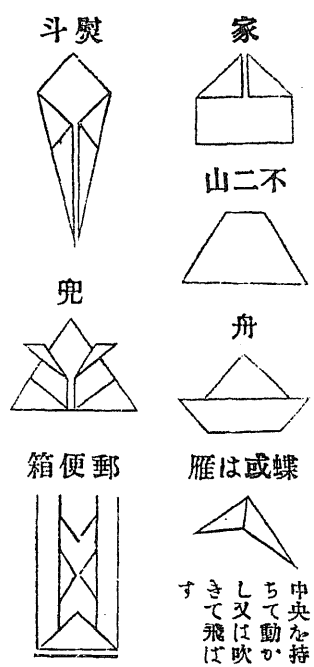
らぬと幼兒に聞かしむべきものにはあらざるべし

紙を摺みて鶴香箱等を造るとは昔より廣く行はれし

遊びにして最も面白きものなれども其の摺み方複雑な

るもの多く幼兒にはむづかしといふ人ありされど必し

も困難こんなんを忍びて教ふるを要せず幼児の想像力さうざうりよくは甚だ盛なるものにして唯一片の紙を與ふれば自ら種々様々のものを造るを以て其の都度つど十分之に同意を表し與ふる時は其の工夫くふうする所實に廣くして大人の遠く及ばざる所なるべし今實際じつさい幼児の工夫くふうしたるもの數種を左に掲ぐ



何れも正せい方形はうけいの紙を以て造りたるものにして三年半以上五年以下の兒の工夫くふうなり此等に用ゐる紙は色を識別しきべつせしむる點よりいふも與

味あじを益す點よりいふも千代紙ちよがみ色紙いろがみ等らをよろしとすれば之を得がたき所にては自ら染めて與ふるも面白かるべし

染め方の簡單かんたんなる法は

アニリン色料あにりんしきりやうをアルコールにて溶とけし後のち適宜てきぎに水を和あす

錫酸しやくさんソーダソーダを水みづに溶とかす

右の如くして染めんとする紙を塗ぬり板いたの上に延べ先づ錫酸しやくさんソーダソーダを刷はり子こにて引き直ただに色料しきりやうを刷はり子こに含あませして其の上に引き乾かして用ゐる錫酸しやくさんソーダソーダを引くは色の剝はけがせざる爲ためなり又また礬ばん水みづを用ゐるもよろしアニリン色料あにりんしきりやうの中には種々好みこのみの色あるべし

おみやげこれは幼稚園にてなさしむる手技しぎの名のやうになり居れり其の名のものを尋ねれば幼兒自ら造りたるものを父母の許もとへおみやげに持参もこするといふ意い

り出でたる如くにして理は甚だよろしけれども今は往

々其の意義にのみ拘泥して幼稚園にても日々必ず持ち

歸らしむることゝし家庭にても日々必ず持ち来るもの

と思ひ甚だしきは其の美麗にして細工の細かきを競ふ

とかさけり斯の如きは幼児ありて後に遊具あるを忘れ

たるものにして保姆が大半造りて與ふるにせよ幼児に

不適當なる仕事をなさしむるものなれば害を及ぼすこ

と少からず其の主なるものと思ふを左に擧げん

猥りに複雑なるものを好み簡易なる仕事に満足せ

ざることを

眞の快樂を知らしめず且つ徒に手技の困難を感ぜ

しめ勤勉の念を開塞すること

想像力の發育を妨げ獨立心の伸長を害すること

又保姆にありては徒に手技の準備に忙しく従つて知

らず識らず必要なる研究を疎になすの嫌を生ずるに

至るべし

幼児を保育せんには愛を本とせよとは誰もいふ所な

れども猶ほこれに加ふるに勤勉熱心を以てし一度許し

たること又一度命じたることは必ずこれを實行せしむ

るの覺悟なかるべからず然れども決して理窟づめにせ

ず唯其の精神を保たんに注意すべし



## 雜 錄

### 公 德 の 養 成

如何なる點より見るも、我邦人の公德に缺け居れるは事實として疑ふべからず。東洋の君子國と自稱せる我國にして道德上この至大の缺點を有せるは、まことに慨歎の至と曰ふの外なし。近來に至りて等しく、この